

## 写真＋カフェで人と人をつなげ奈良を盛り上げる

ナナツモリ 奈良県北葛城郡上牧町

若い女性の間でデジタル一眼カメラが人気を集めるなど、最近また写真がブームとなっているが、「写真を通してたくさんの人たちとつながっていく」ことをテーマとして写真スタジオにカフェを併設した店『ナナツモリ』（北葛城郡上牧町）が、ネットの評判や口コミで多くのファンを集めている。

カメラマンである店主の田村<sup>ひろし</sup>さんが2階で写真スタジオを運営し、妻の明日香さんが1階でカフェを担当。小さな子供も含め幅広い年齢層を対象にした写真教室、写真をテーマにした遠足や合宿、フラワーアレンジメント・語学等の教室やハロウィンパーティー等のイベントなど、縁あって『ナナツモリ』に集まった人たちがお互いに「つながっていく」ための多種多様な取り組みを、次々と意欲的に展開している。



夫婦で内装をDIYした1階のカフェ（左上）  
写真教室の様子（左下）  
写真雑貨も販売する2階のサロン（右上）

「写真はカメラさえ持てば誰でも気軽に撮れ、一番手軽なコミュニケーションツール」だと語る田村さんは、奈良生まれの32才。東京の写真学校を卒業し東京ディズニーランドで写真撮影の仕事を経験した後、25才の時に奈良にUターン。夫婦でカフェなどに勤めて調理や店舗運営のノウハウを勉強し、29才のときに『ナナツモリ』をオープンさせた。

普通、写真館で写真を撮る場合、七五三の次は一気に成人式まで飛んでしまったりと、継続的にその写真館と関係を保ち続けることは難しい。そこで、「撮影後もお客さんが気軽に足を運んで楽しく時間を過ごせ、人と人につながっていける場所として、カフェを一緒に設けたかった」のだという。

不思議な語感の店名の由来は、夫婦ともに愛読する宮沢賢治の詩集『春と修羅』に出てくる「七ツ森」という宮城の地名から。カフェで提供される人気の手作りケーキやランチプレートにもこころした素敵なセンスが発揮されており、「人を楽しませることが大好き」という夫妻のほがらかな人柄とも相まって、根強いファンを獲得している。



人気の手作りケーキ（左）とヘルシーなランチプレート（右）

「一時期東京に住んだことで、ゆったりと時間が流れ気張らなくていい奈良の魅力を再発見できた」と語る田村さんは、店の運営を通じて故郷奈良の地域活性化への取り組みも模索している。その一環として、アートに焦点を当てた地域発信型イベントに興味を持ち全国を旅行。今年の9月には写真教室の生徒さんたちとともに香川県直島に合宿し、開催中の『瀬戸内国際芸術祭 2010』を巡った。

全国を回って感じるのが、「奈良では若者が新しいことをやる時に協力してくれる人や受け皿が圧倒的に少ない」ということ。自身の開店の際も感じた奈良独特の閉鎖的な壁を壊すためにも、「地域発信型イベントも含め、継続的に人が集まりつながる魅力的な仕掛け作りが必要」だと考えているという。

「写真家ではなく、写真の楽しさを伝える『写真のお兄さん』になることが夢」と笑う田村さん。『ナナツモリ』を舞台に人と人をつなげていき、自分を取り巻く人たちみんなを楽しませるための田村さんの“仕掛け作り”は、これからもずっと続いていく。（吉村 謙一）



カフェ＋フォトスタジオ ナナツモリ

〒639-0201 奈良県北葛城郡上牧町片岡台 1-19-4

TEL・FAX：0745-72-2523

URL：http://www.nana-tsumori.com/